

# 令和4年度 郡市医師会生涯教育担当理事協議会

と き 令和5年3月16日(木) 15:00～15:40

ところ 山口県医師会6階 会議室

[報告：常任理事 茶川 治樹]

## 挨拶

**加藤会長** 先生方におかれては、各地域において会員の生涯教育に尽力されていることに、感謝申し上げます。現在、新型コロナウイルス感染症の県内の入院患者数は50人を下回っており、3月13日からはマスクも個人の判断になり、5月8日からは5類に移行される。新型コロナウイルス感染症により、生涯研修セミナーの開催が危ぶまれた時期があったが、感染対策をして年4回開催した。コロナのため、多くの方が集まることを危惧する面もあり、参加者が少なかったが、今後は参加者が増えることを期待している。

令和4年度の医学会総会は岩国市医師会の引き受けで開催され、従来では市民公開講座を開催していたが、今回は医療従事者に限定し、新型コロナウイルス感染症について、日本医師会の釜范常任理事にご講演いただいた。

県医師会では、新たに山口大学医師会等の若手研究者の研究支援を令和5年度から開始する。医学会総会での研究発表も要件の一つとしている。

## 協議事項

### 1. 日本医師会生涯教育制度について

令和3年度の日本医師会生涯教育単位取得者は全国で100,522名、山口県では1,417名であった。令和2年度の山口県の単位取得者総数は1,208名で、昨年度より200名程度増加している。取得単位とカリキュラムコードの取得数の平均は全国が18.5、山口県は14.1であった。

3年間で取得した単位数とカリキュラムコード数の合計が60以上の方に、日本医師会生涯教育認定証が交付される。令和3年度の取得者数は全国は19,343名、山口県は238名であった。令和2年度の山口県の取得者数は41名であり、大幅に増加している。

なお、研修会の単位入力には各郡市医師会で日本医師会の「全国医師会研修管理システム」を利用させていただいており、申告の取りまとめを例年通り依頼している。会員から郡市医師会への申告書の提出期限は4月30日まで、郡市医師会の入力期限は6月30日までとなっており、6月30日を過ぎるとシステムでの登録等ができなくなるので、ご注意いただきたい。

### 2. 令和5年度山口県医師会生涯教育事業計画について

#### (1) 生涯研修セミナー

生涯研修セミナーでは臨床のみならず、基礎系の研究分野や最新医学のトピックスなど幅広いテーマを取り上げて実施している。令和5年度も令和4年度と同様に、専門医の認定更新に必要な共通講習の単位を取得できるようにしており、5月14日(日)に開催するセミナーにおいて、専門医共通講習の単位が取得できる。また、同日のセミナーでは、シンポジウムで産業界の更新に必要な単位も取得できる。多くの方に生涯研修セミナーに参加していただきたい。

#### (2) 山口県医学会総会

令和5年度の引き受け医師会である吉南医師会より、下記のとおりご説明いただいた。

令和5年6月11日(日)の10時30分から山口グランドホテルで開催する。午前中に特別講演として山口大学大学院創成科学研究科の野崎浩二教授にご講演いただく。午後からは2題の講演を予定しており、1題は鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器外科学分野の上田和弘教授、もう1題は広島大学大学院医系科学研究科小児科学の岡田 賢 教授にご講演いただく。多くの方にご参加いただきたい。

なお、令和6年度は徳山医師会にお引き受けいただき開催する。

### (3) 将来のドクター養成に向けた中高生の職業体験事業

白澤理事より、下記のとおり説明が行われた。

平成27年度からこの事業を行っており、コロナによって3年間開催できなかったが、令和4年度は8月7日(日)に山口市で開催した。以前は中学生と高校生に参加募集を行ったが、今回は高校生に限定して募集を行い、31名の参加があった。体験内容は4グループに分かれて、採血、心肺蘇生、血圧測定、縫合・結紮を行っていただいた。実際の手技は屋根瓦式に近い学年の人が実施するほうが効果があるため、山口大学医学部の学生や大学病院の若手医師にインストラクターをしていただいた。

令和5年度は宇部市で8月6日(日)に開催予定で、中学生と高校生に参加募集を行う。

### (4) 体験学習

体験学習は昭和60年から山口大学医師会、山口大学医学部にお願いし、山口大学の2教室にお引き受けいただき開催している。引受教室の講演や、普段、大学で使用されている医療機器を用いた実技研修が体験でき、大変好評である。しかし、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。令和5年度は開催したいと考えているので、詳細が決まり次第、改めてご連絡させていただく。

### (5) 山口県医学会誌

山口県医学会誌は「会員研究」として会員個人あるいはグループによる各種医学論文を掲載している。より充実したものにしたいので、積極的な投稿をお待ちしている。

### (6) 山口県医師会医学研究助成事業

令和5年度より新たに開始する事業で、会員の医学・医療に関する研究を支援することにより、山口県内の医学・医療の発展と医師の県内定着促進を目的としている。対象は卒後20年未満の県医師会会員で、かつ、日本医師会会員であることと、日本医師会会員歴1年以上としている。この事業は令和6年度も実施予定で、令和6年度の募集を令和6年1月に開始する予定であるので、その際は周知等へのご協力をお願いしたい。

## 3. その他

4月21日から23日に東京を会場に現地とWebで開催される「第31回日本医学会総会2023 東京」を紹介し、積極的な参加と周知をお願いした。

また、各郡市医師会の研修会について、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後の開催方法についてご意見をいただいた。これまでと同様にWebと現地のハイブリッド形式での開催を継続されるという考えが多かったが、現地もしくはWebに限定して実施することを考えておられる郡市もあった。

## 出席者

### 郡市医師会担当理事

大島郡 松本 直晃  
玖珂 川田 礼治  
熊毛郡 竹ノ下由昌  
吉南 目 昭仁  
美祢郡 竹尾 善文  
下関市 大谷 望  
宇部市 内田 悦慈  
山口市 佐々木映子

萩市 藤原 真一  
下松 後 賢  
山陽小野田 関 耕三郎  
光市 谷川 幸治  
柳井 濱田 敬史  
長門市 綿貫 浩一

### 山口県医師会

会長 加藤 智栄  
常任理事 茶川 治樹  
理事 白澤 文吾  
理事 藤井 郁英